



クニマッスン  
出生地 忍野村  
山梨県水産技術センター  
□癖 でまっすん…



ふじのだいがこうざ えもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達 せんだつ  
(先達とは富士山案内責任者)

『今年3年目になった「不二の祈り」は、関係者の皆様のお蔭で、盛大に執り行うことができ、心から感謝しておるぞ。さて、「不二の祈り」は、富士山世界文化遺産に登録された記念行事として始まったんじゃ。そのような関係から、新聞社などの地元の報道機関に、行事についての案内を出しているんじゃよ。しかし、取材に来られたのは、毎日新聞の記者だけだったんじゃ。その記者が言うには、「富士山は、文化遺産として登録されたんじゃが、宗教的

な活動は少ない。富士山と深い関わりのある不動明王を、千日回峰行者の大阿闍梨様が護摩供養をするという意味の深さがなぜ分からないのだろうか。」と、護摩供養が始まる前に話しておったぞ。10月4日の毎日新聞に、「不二の祈り」について写真付きで掲載して下さったんじゃ。阿闍梨様も言っておられたが、「継続することが大切なんです。」とな。毎日新聞の記者のように、「不二の祈り」に込められた様々な人の篤い思いを理解するには、時間が必要なんじゃな…』  
『千日回峰行者の大阿闍梨様がお越し下さらなければ、「不二の祈り」の護摩供養は成立しないでまっすん。本当にあり難いでまっすん。護摩供養が終わった本堂内は、清められて良い音が聞こえて、おいらも清められた気分でまっすん。祈願された人の願いはきっと叶うでまっすん。』  
『さて、今日は御朱印の話であったな。朱印の起源は諸説様々あるんじゃが、元々は神社仏閣に写経を納めた際の受付印だったようじゃ。そのため、「納経印」というところもあるぞ。最近では、参拝の証として集めている人が多いようじゃ。記念スタンプとは違って、神社仏閣をお参りした功德を積んだ証じゃから、集めた朱印帳の扱いは、知っていてほしいのう。』  
『御朱印として有名なのは、観音霊場巡りや四国八十八か所巡り、七福神巡りなどでまっすん。御朱印を掛け軸にする人もいるでまっすん。けれども、最近では、自分で歩かなくても、通販やカタログで、御朱印の掛け軸が販売されているでまっすん。』  
『そうじゃな。御朱印を高額で販売しているという話は、数日前に耳にしたぞ。さて、集めた御朱印の扱いじゃが、亡くなった時に、棺桶の中に入れてもらうのが一番なんじゃよ。記念スタンプではご利益はないが、御朱印は神社仏閣をお参りした功德が、あの世の裁判の時に役に立つんじゃ。どれほど靈験あらたかな神社や寺院であっても、自分でお参りしなければ意味がないということじゃ。逆を考えると、お参りした功德は見えない手帳にちゃんと書いてあるのだから、見えない世界は怖いんじゃよ。朱印をいただく時には志納金を払うのが一般的じゃ。金額は300円が多いようじゃ。しかし、場所によっては、300円以上のところもあるから、確認が必要じゃ。失礼のないようにしたいのう。次回は、地獄と極楽の話をしようかのう…』 『楽しみでまっすん。』